

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

静岡県地域セミナー 報告書

2019（令和元）年 5 月 28 日（火）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」静岡県地域セミナーが開催されました。当日は、今年度の推進校の先生方 58 名に参加いただき、下記の要領で行われました。

【開催概要】

日時：2019（令和元）年 5 月 28 日（火）14 時 00 分～16 時 30 分

会場：静岡労政会館 6 階 大ホール

主催：静岡県教育委員会事務局、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：58 名

プログラム：

- | | | |
|-------------|--------------------------------|--|
| 14:00～14:05 | 開会挨拶 | 静岡県教育委員会 健康体育課 学校体育班
班長 竹村 祐 氏 |
| 14:05～14:45 | 中核拠点早稲田大学における取組及び他県における実践例について | 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター
研究員 岡田 悠佑 氏 |
| 14:45～15:05 | 静岡県における平成 30 年度の取組について | 静岡県教育委員会 健康体育課 学校体育班
主査 佐藤 光浩 氏 |
| 15:05～15:15 | ユニバーサルデザイン出前講座について | 静岡県くらし・環境部 県民生活課 協働推進班 |
| 15:15～15:25 | 要項等説明及び事業推進にあたっての注意事項等について | 静岡県教育委員会 健康体育課 学校体育班
主査 佐藤 光浩 氏 |
| 15:25～15:35 | 休憩 | |
| 15:35～16:15 | グループワーク（情報交換） | |
| 16:15～16:25 | 質疑応答 | |

開会行事では、静岡県教育委員会の竹村氏より挨拶がありました。静岡県は、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場があることから、大会をアスリートに出会う絶好の機会と位置づけて本事業に取り組みながら児童・生徒のスポーツの価値に関する認識を深めていきたい、と本事業への期待を述べられました。続いて、本センターの岡田研究員より、事業概要やこれまでの推進校の先生方の工夫によって行われてきた様々な実践事例が紹介されました。さらに、「オリンピック・パラリンピック教育指導参考資料」（スポーツ庁）や「I'm POSSIBLE」（JPC、パラリンピックサポートセンター）等のオリンピック・パラリンピッ

ク教育用教材やパラリンピアンのパラスポーツへの想いや考えを描いた「WHO I AM」等の映像資料も紹介されました。また、今年度から推進校の児童・生徒を対象としたアンケート調査を実施するという事で、実施方法についての説明も行われました。



竹村氏の挨拶



岡田研究員の講義

続いて、静岡県教育委員会の佐藤氏より、平成 30 年度の静岡県の実践事例の紹介が行われました。昨年度の静岡県の実践事例に関しては、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の会場がある地域では開催される種目を取り上げた実践が行われたり、静岡県にゆかりのあるアスリートが招聘されていたり、校外学習としてパラスポーツの大会を観戦したり、地域の特色を活かした様々な取り組みが紹介されました。

次に、静岡県くらし・環境部県民生活課協働推進班の方から、本事業と関連づけることが可能な「ユニバーサルデザイン出前講座」についての説明が行われました。静岡県では、県民一人ひとりが相手の立場に立って思いやりのある行動ができる「心のユニバーサルデザイン」を目指しており、その一環として「ユニバーサルマナー講座」を行っているそうです。具体的には、県民生活課の方が学校に出向き、ユニバーサルデザインの意味や生活の中にあるユニバーサルデザインの事例等に関する講義をするという内容であり、積極的に活用してほしい、ということでした。

さらに、再び静岡県教育委員会の佐藤氏より、本事業を遂行するうえでの事務手続きに関する説明が行われました。静岡県では、今後各推進校から実施計画書を提出いただき、それに基づいて実践を行っていくことになるということでした。

最後に、参加いただいた推進校の先生方に近隣の地域ごとのグループに分かれていただき、情報交換が行われました。どのようなアスリートを招聘することができるのか、学校のどのような課題とオリンピック・パラリンピック教育を結びつけることができるのか等、様々な意見や質問が出されました。



佐藤氏の講義



会場の様子